

認定看護師の
活動について

集中ケア 認定看護師の 活動について

集中ケア認定看護師 中田 健



集中ケア認定看護師とは、集中治療領域において重症かつ集中治療を必要とする患者・家族への看護を行います。私は集中ケア認定看護師の認定を受けて4年目になります。現在、救命救急センターで勤務をしながら院内・院外を通して様々な活動を行っています。その活動の一部を紹介いたします。

1. 人工呼吸器装着中の患者の離脱に向けた介入

患者さんの中には、呼吸状態が悪くなり人工呼吸器を装着することがあります。人工呼吸器装着中の患者さんを対象に、医師・集中ケア認定看護師・慢性呼吸器疾患看護認定看護師・リハビリのセラピスト・臨床工学技士でラウンドを行い、人工呼吸器から早期離脱のために介入を行います。介入内容は、人工呼吸器の設定調整や、看護上での問題の検討、リハビリテーションの検討、安全管理などをチームで検討します。患者さんが早く人工呼吸器から離脱できるように今後もサポートを続けます。

2. 異常の早期発見を目的とした病棟ラウンドの実施

病棟の患者さんが急変する前に、意識や呼吸の異常が早期に現れます。また一旦急変すると全身状態の改善は難しくなるため、異常の早期発見が大切になります。現在、医師・集中ケア認定看護師・救急看護認定看護師で週1回各病棟をラウンドし、異常の早期発見や治療・看護ケアに対するアドバイスを行っています。また、看護師が統一して患者さんの状態を評価し異常の早期発見につなげるために、平成28年4月よりNEWS早期警告スコアリングシステムを電子カルテに導入し活用を始めました。しかし、呼吸回数や脈診など十分に観察が出来ていない部分があります。日々の臨床の中で指導を行い異常の早期発見につなげられるように看護師の質の向上をはかっています。その他に、各病棟で困った事例を取り上げ、シミュレーションを通して病棟看護師と振り返りを行っています。症例を振り返ることで、情報が整理でき気づきや学びが深まります。日々の実践につなげられるように、今後も病棟看護師と振り返りを続けます。

3. 院内・院外の医療スタッフへの指導

認定看護師の責務の一つとして指導があります。現在は、院内外の看護師に対し、フィジカルアセスメントに関する勉強会を定期的で開催しています。そのほかにも、人工呼吸器の看護に関するセミナーを開催し、県内の看護師に対して指導を行っています。12月に院内で人工呼吸器に関する研修を予定していますが、現在40名程度の参加希望があり研修開催に向けて準備を行っています。認定看護師になってから、研修で指導することが多くありますが、相手に伝えることの難しさを実感しています。今後も、参加される看護師の方が学習結果を少しでも日々の実践に生かすことができるように心がけながら指導を継続したいと思います。

